

罪刑法定主義

ゼロから司法試験 復習ノート / ゼロから刑法#5 / 動画: <https://youtu.be/IfrqKHSqggU>

第1章 刑法の基礎 ⑤ / 動画の内容を見返し用にまとめたものです (動画には含みません)。

1. 意義 | 罪刑法定主義とは [短答・論文共通]

罪刑法定主義とは、いかなる行為が犯罪となり、いかなる刑罰が科せられるかを、あらかじめ成文の法律で規定しておかなければならない、という刑法の基本原則です。標語にすれば「法律なければ犯罪なし、法律なければ刑罰なし」(フォイエルバッハの定式)。

★ 意義 (答案の出発点)

罪刑法定主義：いかなる行為が犯罪となり、いかなる刑罰が科せられるかを、**あらかじめ成文の法律**で規定しておかなければならない、という刑法の基本原則。

→ 標語 = 「法律なければ犯罪なし、法律なければ刑罰なし」(フォイエルバッハ)

図：答案の出発点となる意義カード。

憲法上の根拠は **憲法31条 (適正手続)** です。さらに、遡及処罰の禁止は39条、委任のない政令罰則の禁止は73条6号但書が支えています。

2. 根拠 | なぜここまで国家を縛るのか [短答・論文共通]

罪刑法定主義は、2本の根から成り立っています。

ひとつは **自由主義** です。市民が「これをやったら罰せられる／これは大丈夫」を前もって予測できるようにする——#3 で見た自由保障機能 (書いてないこと・やってないことは罰しない) の制度化です。もうひとつは **民主主義** です。罪と罰という重大事は、国民の代表である **議会 (国会)** が法律で定めるべきで、行政が勝手に作ってははいけません。

このあと見る6つの派生原則は、すべてこの2本の根から枝分かれします。

罪刑法定主義の系図（2本の根 → 6つの派生原則）

罪刑法定主義＝国家を縛り自由を守る

根① 自由主義（予測可能性＝#3 自由保障）

② 遡及処罰の禁止

行為時に適法→後法で罰せず（憲36）

③ 類推解釈の禁止

不利な類推☒／拡張解釈○

④ 明確性の原則

読めない条文は無効（徳島市公安条例）

⑥ 絶対的不定期刑の禁止

刑期を全く定めない宣告は☒

根② 民主主義（議会が罪と罰を決める）

① 法律主義（慣習刑法の排除）

成文の法律で／委任なき政令罰則☒（憲73⑥但）

⑤ 実体的適正（自由＋中身の正しさ）

罪刑の均衡・残虐刑の禁止（憲36）

※ 暗記する6行ではなく、2本の根から枝が伸びる1本の木として見る。

図：暗記する6行ではなく、2本の根から枝が伸びる1本の木として見る。

3. 派生原則（6つ）〔短答・論文共通〕

1. 法律主義（慣習刑法の排除）〔根＝民主主義〕：罪と罰は成文の「法律」で定める。慣習・道徳だけでは罰せられない。例外的に、条例（地方議会）や、法律の委任がある政令の罰則は可。委任のない政令の罰則は憲法73条6号但書に違反する。
2. 事後法（遡及処罰）の禁止〔根＝自由主義〕：行為時に適法だったものを、後の法

でさかのぼって罰しない。根拠＝憲法39条前段。ただし刑が軽くなる改正は遡及可（刑法6条＝犯人に不利でないから）。時間的適用の中身は #6 へ。

3. 類推解釈の禁止〔根＝自由主義〕：禁止されるのは被告人に不利な類推だけ。拡張解釈（言葉の可能な意味の範囲内）や有利な類推は可。線引きの例＝「車両通行禁止」に原付を含めるのは範囲内＝拡張解釈（可）／馬や手押し車まで含めるのは範囲を超える＝類推（不利なら不可）。

拡張解釈は許される／類推解釈は禁止（不利な方向だけ）

設例：条文「車両の通行禁止」。何が「車両」に含まれるか？

拡張解釈

言葉の「可能な意味の範囲内」で
広げる解釈（読める）。

例) 「車両」に 原動機付自転車 を含める
→ 一般人もそう読める＝予測を裏切らない
→ 不利でも 許される



類推解釈

言葉の範囲を「超えて」
似てるから当てはめる解釈（読めない）。

例) 「車両」に 馬 や 手押し車 まで含める
→ 一般人には読めない＝予測を裏切る
→ 不利な方向は 禁止



※ 有利な類推・有利な遡及は可。禁止されるのは「被告人に不利な類推」だけ。

4. 明確性の原則〔根＝自由主義〕：何が罰せられるか読めない、不明確な刑罰法規は無効。
5. 実体的適正〔根＝自由＋中身の正しさ〕：形式（事前に法律で）だけでなく、中身も適正であることを求める。罪刑の均衡（重すぎる刑は不可）と残虐な刑の禁止＝憲法36条。
6. 絶対的不定期刑の禁止〔根＝自由主義〕：「懲役に処す」と刑期をまったく定めない宣告は不可。上限・下限を定める相対的不定期刑（例：3年以上5年以下）は可。

4. 明確性の判断基準 | 徳島市公安条例事件〔論文〕

明確性の判断基準を示したのが徳島市公安条例事件（最大判昭50・9・10／大法廷・判決）です。ある刑罰法規が不明確ゆえに憲法31条に違反するかは、次の基準で決めます。

【判例】徳島市公安条例事件（最大判昭50・9・10） 通常的判断能力を有する一般人の理解において、具体的場合に当該行為がその適用を受けるものかどうかの判断を可能ならしめるような基準が読みとれるかどうか。

判例

徳島市公安条例事件（最大判昭50・9・10）：刑罰法規が不明確ゆえ憲法31条に違反するかは、「通常の判断能力を有する一般人の理解において、具体的場合に当該行為がその適用を受けるものかどうかの判断を可能ならしめるような基準が読みとれるかどうか」によって決すべきである。

→ 明確性の判断基準（短答・論文頻出）。完璧な明確さは不要・一般人に読めれば合憲

完璧な明確さは不要です（それを要求すると、そもそも法律が書けない）。一般人に読めれば合憲、という発想です。

条文（全文カード）

【条文】日本国憲法31条（適正手続） 何人も、法律の定める手続によらなければ、その生命若しくは自由を奪はれ、又はその他の刑罰を科せられない。

条文 憲法31条（適正手続）

何人も、**法律の定める手続**によらなければ、その生命若しくは自由を奪はれ、又はその他の刑罰を**科せられない**。

【条文】日本国憲法39条（遡及処罰の禁止・二重処罰の禁止） 何人も、実行の時に適法であつた行為又は既に無罪とされた

行為については、刑事上の責任を問はれない。又、同一の犯罪について、重ねて刑事上の責任を問はれない。

条文 憲法39条（遡及処罰の禁止・一事不再理）

何人も、**実行の時に適法であつた行為**又は既に無罪とされた行為については、**刑事上の責任を問はれない**。又、同一の犯罪について、重ねて刑事上の責任を問はれない。

【条文】日本国憲法36条（拷問・残虐刑の禁止） 公務員による拷問及び残虐な刑罰は、絶対にこれを禁ずる。

【条文】日本国憲法73条6号但書（委任なき政令罰則の禁止） 但し、政令には、特

にその法律の委任がある場合を除いては、罰則を設けることができない。

【条文】刑法6条（刑の変更） 犯罪後の法律によつて刑の変更があつたときは、その軽いものによる。

条文 刑法6条（軽い刑の適用）

犯罪後の法律によつて刑の変更があつたときは、その**軽いもの**による。

短答ひっかけ

- 罪刑法定主義の標語は「法律なければ犯罪なし、法律なければ刑罰なし」。慣習刑法は排除（成文の法律で）。
- 遡及禁止は不利な遡及だけ。刑が軽くなる改正は遡及する（刑法6条）。「改正は一切遡及しない」ではない。
- 類推解釈の禁止は被告人に不利な類推のみ。拡張解釈・有利な類推は可。「拡張解

積も禁止」と取り違えない。

- 不定期刑は**絶対的**（刑期を全く定めない）が禁止。**相対的不定期刑**（上限・下限あり）は可。
- 明確性は**完璧な明確さ**までは不要。一般人基準（徳島市公安条例事件）で読みとれば合憲。
- 派生原則の「根」を取り違えない。法律主義だけが**民主主義**の根、残りは**自由主義**（実体的適正は自由+中身の正しさ）。

論文の型 | 明確性の原則（罪刑法定主義）

1. **問題提起**：本件刑罰法規は不明確であり、罪刑法定主義の一内容たる明確性の原則（根拠＝憲法31条）に反して無効ではないか。
2. **規範**（徳島市公安条例事件・最大判昭50・9・10）：刑罰法規が不明確ゆえに憲法31条に違反するかは、「通常の判断能力を有する一般人の理解において、具体的場合に当該行為がその適用を受けるものかどうかの判断を可能ならしめるような基準が読みとれるかどうか」によって決する。
3. **あてはめ**：当該規定の文言から、一般人がその場で「自分の行為が処罰対象か」を判

断できる基準が読みとれるかを、具体的に検討する。

4. **結論**：読みとれば合憲（明確）／読みとれなければ違憲・無効。

今日の地図（保存版）

- 罪刑法定主義＝あらかじめ成文の法律で犯罪と刑罰を定めておけ（根拠＝憲法31条）
- 2本の根＝自由主義（予測可能性）と民主主義（議会が決める）
- 根①自由主義 → ②遡及禁止・③類推禁止・④明確性・⑥絶対的不定期刑の禁止
- 根②民主主義 → ①法律主義（慣習刑法の排除）
- 自由+中身の正しさ → ⑤実体的適正（罪刑の均衡・残虐刑の禁止＝憲法36条）
- 暗記する6行ではなく、**2本の根から枝が伸びる1本の木**
- 送り：刑の変更・時間的適用 → #6／違法性の意識（法律の不知＝刑法38条3項） → #27

今回は第1章⑥「刑法の適用範囲」。行為時法の原則・刑法6条の適用範囲など、刑法が時間と場所のどこまで及ぶかを扱います。